

平成22年8月12日

土砂災害から身をまもるために

国土交通省砂防部

土砂災害は、予測の難しい災害ですが、発生する場所や時間はある程度特定することが出来ます。ここでは、土砂災害から身をまもるために最低限知っておくべき3つのことについてお知らせします。

○ 住んでいる場所が、土砂災害危険箇所か確認する

土砂災害の約6割は、「土砂災害危険箇所」で発生します*。普段から自分の家が土砂災害危険箇所にあるかどうか、砂防部のホームページ (http://www.mlit.go.jp/river/sabo/link_dosya_kiken.html) 等で確認しましょう。あるいは直接、市町村役場に問い合わせください。

*ただし、土砂災害の4割は、土砂災害危険箇所以外でも発生します。

○ 雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意する

土砂災害が発生する多くの場合は「土砂災害警戒情報」が発表されています。雨が降り出したら、土砂災害警戒情報に注意しましょう。土砂災害警戒情報は、気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jp/dosha/>) や各都道府県の砂防課などのホームページで確認できます。都道府県や市町村によっては携帯電話等に自動的に土砂災害警戒情報を教えてくれるサービスもありますので活用ください。

○ 土砂災害警戒情報が発表されたら早めに避難する

がけ下や溪流沿いなどに住んでいる方は、土砂災害警戒情報が出たら早めに近くの避難所などの安全な場所に避難しましょう。また、土砂災害の多くは木造一階で被災しています。豪雨などでどうしても避難所への避難が困難なときは、次善の策として、近くの頑丈な建物の二階以上に緊急避難したり、それも難しい場合は家の中でより安全な場所（例えば、がけから離れた部屋や二階）に避難しましょう。

以上